

## 第2学年道徳学習指導案

男子24人 女子11人 計35人  
指導者 石澤 恵

### 1 主題名 進んできれいに (4-① 公徳心, 規則の尊重)

### 2 主題設定の理由

#### (1) 主題の価値について

社会生活や集団生活を快適にしていくためには、一人一人が、他人に迷惑をかけない心構えをもち、公徳心を養い、社会規範を守ろうとする態度を身につけることが大切である。しかし、最近では、公徳心が軽んじられ、一部地域では、成人式での目に余る言動等が社会的な問題となっている。これは、一つの物を共有して使う経験が少なくなってきたことや、家庭の教育力の低下が原因と考えられる。また、自分の権利ばかりを主張し、自らの義務を果たさないといった自分本位の考え方を持つ人が増えているのも問題である。

この期の子供たちは、まだ自己中心性が強く、自分勝手な行動をとってしまいがちである。まわりのことや先のことを考えて行動することが難しく、公共物や公共施設などの利用の際の約束やきまりが守れないことも多い。「自分さえよければ。」というのではなく、みんなのことを考えて生活し、集団の一員としての自覚を高めていくことが重要であると考ええる。

そこで、本主題では、自分だけではなく、相手やまわりの人のことも考えて生活し、みんなで使う物や場所を大切にする心や、約束やきまりを守る態度を育てることをねらいとしている。行ってよいことと悪いことの区別がしっかりと自覚でき、社会生活上のルールが身につくよう、繰り返し指導していく必要がある。

このような学習を通して身につけた見方・考え方・感じ方は、公徳心をもち、法やきまりを守り、権利・義務を大切にしようとする心を更に深めていく学習へと発展していくことになる。

#### (2) 児童の実態 (調査日：平成14年10月1日, 調査人数35人)

本主題に関する本学級の児童の実態は次の通りである。

##### ① 約束やきまりは大切だと思いますか。

はい (32名) , いいえ (3名)

【大切な理由】	怒られる, 事故にあう, 友達が遊んでくれなくなる, 世間や学校が汚くなる, 人の迷惑, いい気持ち, 守れないといやな気持ち,
---------	--

【大切な理由】	もっと遊びたい, 覚えるのが面倒, あまり意味がない
---------	----------------------------

② 約束やきまりは守っていますか。

はい (19名) ときどき (13名) あまり守れない (3名)

【内容】 時間, 遊び場所, 遊ぶ約束, 遊具の使い方, 順番, 手伝い, おやつ, ごみ, 留守番, 無駄遣い, 勉強してから遊ぶ, 犬の餌やり

【守れた時の気持ち】

うれしい (20名), やったあ, きまりを守ろう, 守れてよかった  
もっと遊びたかった, おこられたくない, どうしよう,

【守れなかった時の気持ち】

楽しくない, いやな気持ち, 悪かった, 怒られる, お母さんがかわいそう

③ みんなが使う場所には, どんなところがありますか。(複数回答)

公園 (24名), 校庭 (16名), プール (8名), 海 (5名), 川, 道路, 教室, 砂場, 図書館, 公民館, 映画館, 遊園地

④ みんなが使う場所に, ごみが落ちていたのを見ることがありますか。

ある (24名), ない (11名)

- ・きれいにしたいなと思って, 拾った。
- ・きれいにしたほうがいいと思って, ごみ袋に入れた。
- ・拾わないといけないので, 拾った。
- ・地球が汚れると思ったので, 缶を缶入れに入れた。
- ・拾おうとしたけど, そのままにしておいた。
- ・汚いなと思ったけど, 拾わなかった。

⑤ みんなが使う場所に, ごみを捨てたことがありますか。

ある (7名), ない (28名)

- ・風に飛ばされて, 海に入ったから。
- ・面倒くさかったから。
- ・ごみ箱が見つからなかったから。

⑥ みんなが使う場所では, どんなことに気を付ければよいですか。

- ・きまりを守る
- ・ごみを捨てない
- ・仲良く, 順番よく使う
- ・ごみをもって帰る
- ・元の場所に戻す
- ・大切に使う

本学級の子供たちは, これまで, 生活科の探検や一日遠足などを通して, 約束やきまりについて考え, それらを守って生活しようとしてきている。また, 互いの立場を認め合うことや, 行ってよいこと悪いことの理解が徐々にできるようになってきている。

①により, ほとんどの子供が約束やきまりが大切だと理解している。

②により, ほとんどの子供たちが, きまりを守れた経験があり, その際, きまりを守れた喜びを感じているが, 「もっと遊びたい。」「どうしよう。」といった迷いが生じていることが分かる。また, きまりを守れず, いやな思いをした経験もある。

③により, 子供たちは, 公共の場として, 公園を最も身近に感じていることが分かる。

④～⑥により, 公共の場での心構えや公共施設および公共物の使い方について子供たちはある程度理解しているものと思われる。しかし, なかなか実行できるまでには高まっていない。

そこで, 学校生活にも慣れ, 1年生の時のような緊張感が薄れるこの時期, 約束やきまりの大切さを考えることが重要であると考え。そして, きまりを守ることの気持ちよさに気づかせるとともに, 自分の事だけ考えるのではなく, みんなのことを考えて進んで行動しようとする心情や態度を育てていきたい。

(3) 資料について

本主題では、読み物資料「こうえんの花」(東京書籍『みんなたのしく』)を取り上げることにした。この資料は、主人公が、公園に落ちているごみに気づき、ごみを拾う父親の行動を見て、自分もごみを拾い、公園の利用の仕方について考えていくというあらすじである。公園で遊んだ経験や地域清掃等の体験と重ね合わせながら、公共施設を利用する際の心構えや進んで行動したときの気持ちよさに気づかせることのできる資料であるとする。

【資料分析】

〈あらすじ〉

ぼくは、おとうさんと公園へ行き、たくさんの花を見る。

カメラでチューリップの写真を撮っていて、花の間に落ちているゴミに気づいた。

反対側のパンジーが咲いている方へ移動し、またごみを見つける。

父親がごみを拾う姿を見て、自分も拾い始める。

くずかごにいれながら、父親と会話する。

父親に頭をなでられた、ぼく。

〈登場人物の心の動き〉

・お父さんと公園に来たぞ、うれしいな。写真を撮るぞ。  
・わあ、きれいだな。

・汚いなあ。いやだなあ。  
・写真に写したくない。  
・誰が捨てたんだろう。  
・あっちへ行こう。

・おや、ここにもごみがあるぞ。  
・がっかりした。  
・汚いな。  
・お父さんに教えよう。

・お父さん何で拾うの。汚いよ。  
・ごみ拾いなんて面倒くさい。  
・お父さん、えらいなあ。  
・ぼくも、見習って拾おう。  
・きれいにしたい。

・こんなにたくさんあった。  
・花がかわいそう。

・きれいになってよかった。  
・気持ちがいい。

〈価値〉

公德心, 規則の尊重  
敬虔

公德心, 規則の尊重

公德心, 規則の尊重

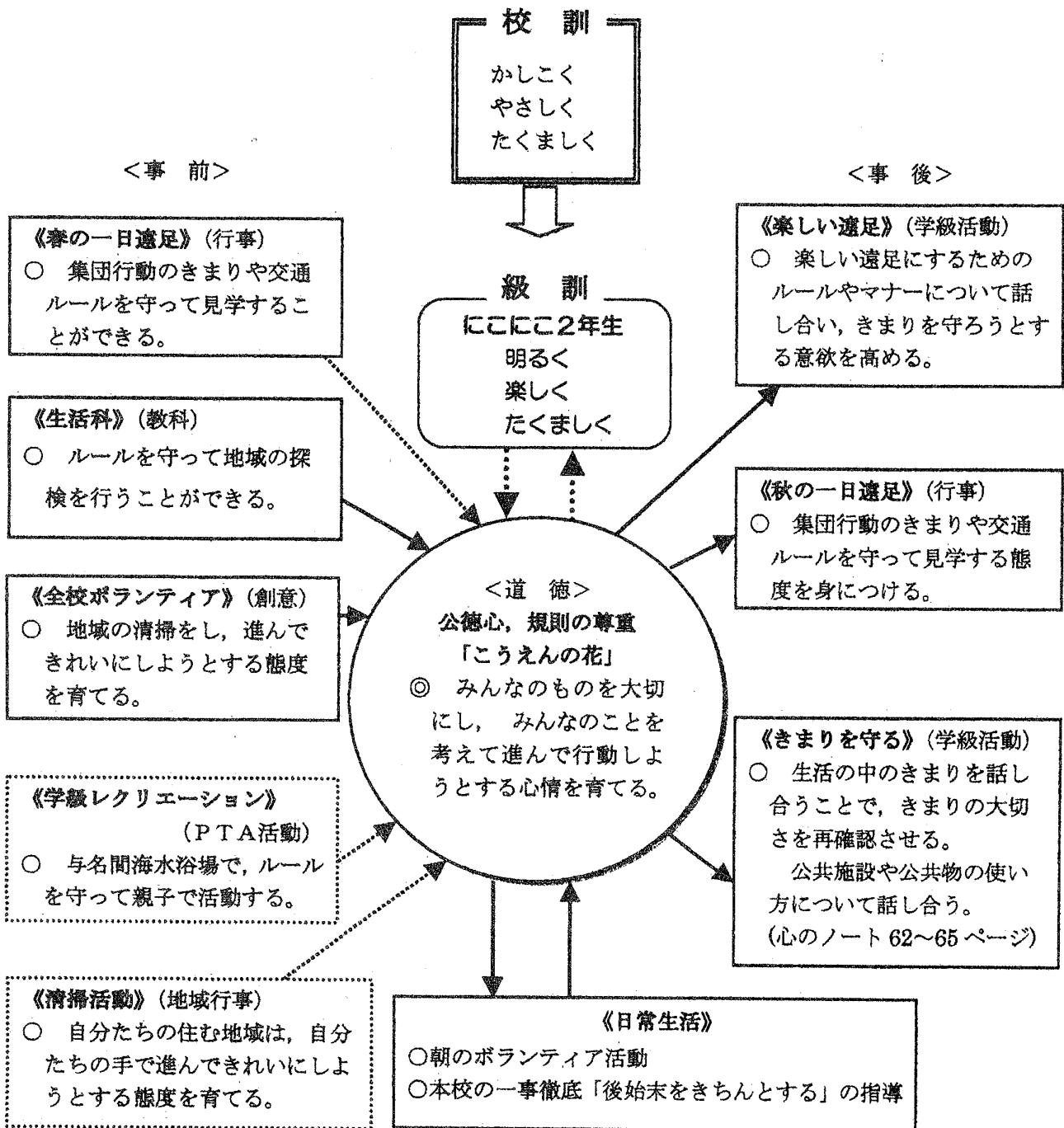
公德心, 規則の尊重  
節度・節制, 自立  
勇気  
尊敬・感謝

公德心, 規則の尊重  
動植物・自然愛護

公德心, 規則の尊重

(4) 指導にあたって

① 体験活動との関連



② 指導上の留意点

「気づく」段階では、学校の近くの公園に落ちているごみのビデオを見せ、気づいたことや思ったことを発表させて問題意識を高め、本時のめあてにつなげたい。

「探る」段階では、公園はみんなの憩いの場所であることを押さえるため、きれいな公園のすがすがしさを動作化をさせて感じさせたい。そして、公園に落ちているごみに気づいた「ぼく」の気持ちや行動について、共感的にとらえさせるため、発問を工夫したり、挿し絵や実物のごみ等を用意したりして状況をとらえやすくする。また、「だれが、どんな気持ちで捨てたのか。」と発問し、自分勝手な考えや行動が人に迷惑をかけることに気づかせる。その際、自分の経験を思い出させ、ごみを捨ててしまう心の弱さも見つめさせたい。

「見つける」段階では、「ぼくは、どんな気持ちでごみを拾ったのでしょうか。」という中心発問をする。その際、ワークシートに書かせることにより、多様な考えを引き出したい。ごみを拾う「ぼく」の心情を追求することにより、望ましい価値に迫らせていく。そして、進んでごみを拾った「ぼく」の気持ちや、きれいになった公園の気持ちよさを感じさせるために、ごみを拾う動作化をしてより実感を高める工夫をする。

「深める」段階では、みんなのものには他にどんなものがあるかを発表させて、生活場面に広げ、それらを使うときどんな気持ちが大切かワークシートに書かせることで、とらえた価値の自覚化を図りたい。

「高める」段階では、全校ボランティアの体験を思い出させ、進んできれいにできた子供たちのよさを認め、校長先生からの励まし等が込められたメッセージビデオを見ることで、実践意欲を高めたい。

3 本時

(1) ねらい

みんなのものを大切にし、みんなのことを考えて進んで行動しようとする心情を育てる。

(2) 実際

過程	主な学習活動	時間	教師の働きかけ（※評価）
気づく ↓	1 ビデオを見て気づいたことを発表し、学習のめあてをつかむ。 みんなのものをつかうとき、どんな気持ちが大せつだろう。	6	○ ビデオにより、児童の視覚に訴える。 ○ 公園に落ちているごみのビデオを見て気づいたことを発表させ、問題意識を喚起し、学習意欲を高める。
	2 資料「こうえんの花」を読み、話し合う。  ① 公園に来たときの「ぼく」の気持ちについて。 ・花がきれいだな。気持ちがいいな。 ・写真をとるぞ。		○ 生活科で公園に行ったときのことを思い出させ、身近な問題としてとらえさせる。 ○ 公園はみんなの憩いの場であることを押さえる。

探 る	<p>② ごみを見たときの「ぼく」の気持ちや行動について。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰が捨てたのかな。</li> <li>・汚い。いやだな。拾いたくない。</li> <li>・あっちへ行こう。</li> </ul>	24	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ だれが、どんな気持ちで捨てたのか考えることで、自分勝手な考えや行動は、人に迷惑をかけることに気づかせる。</li> <li>○ よく考えないで、つい、ごみを捨ててしまう心の弱さに気づかせる。</li> </ul>
見 つ け る	<p>③ ごみを拾うときの「ぼく」の気持ちについて。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・汚い。拾いたくない。面倒だ。</li> <li>・自分が捨てていないから、拾わなくていい。</li> <li>・仕方がないから、拾おう。</li> <li>・お父さんを見習って拾おう。</li> <li>・きれいな方がいいから、拾おう。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 挿し絵や実物のごみなどを用意することで、状況をとらえやすくする。</li> <li>○ ワークシートに書かせることで、多様な考えを引き出す。</li> </ul>
深 め る	<p>④ ごみを拾い終わった「ぼく」の気持ちについて。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・拾ってよかった。いい気持ち。</li> <li>・花がうれしそう。</li> </ul> <p>3 本時の学習をもとに、自分を振り返り、みんなのものを使うとき、どんな気持ちが大切か話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きまりを守って大切に使う。</li> <li>・人に迷惑をかけない。</li> <li>・みんなのことを考える。</li> </ul>	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 進んで行動できた「ぼく」の気持ちよさに気づかせ、共感的にとらえられるように、実際にごみを拾う動作化をさせる。</li> <li>○ ワークシートに書かせることで、自分の考えをまとめやすくする。</li> <li>○ みんなのことを考えて進んで行動できた経験やそのときの気持ちを発表させ、互いのよさを認め合えるようにする。</li> </ul>
高 め る	<p>4 メッセージビデオを見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進んできれいにできると、気持ちがいいな。</li> <li>・みんなのことを考えて、自分ができることは進んでしよう。</li> </ul>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一人一人が気をつけることで、みんなが気持ちよく利用できることに気づかせる。</li> <li>○ 全校ボランティアの体験を生かし、進んできれいにできたときの気持ちを思い出させるとともに、校長先生などからのメッセージビデオを見ることで、これからの実践意欲を高める。</li> </ul> <p>※ みんなのものを大切にし、みんなのことを考えて進んで行動しようとする実践意欲が高まったか。</p>

(3) 評価

みんなのものを大切にし、みんなのことを考えて進んで行動しようとする心情が育ったか。